令和７年度放射性同位元素等取扱施設安全管理担当教職員研修実施要領

1. 目的及び経緯

大学等における放射性同位元素の利用範囲の拡大や利用形態の多様化に伴い、放射線安全管理の徹底を図ることが益々重要となってきている。このため、大学等の放射性同位元素取扱施設における放射線安全管理担当教職員に対し、実習を含めた最新の知識と情報を提供と、その資質向上を図り、もって教育・研究の進展及び施設周辺をも含めた放射線安全の確保を図ることを目的とする。

この研修は、国立大学アイソトープ総合センター会議の幹事校である北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の７大学アイソトープ総合センターが研修実施担当校を持ち回りで開催している。令和７年度は大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センターを会場として開催することとなり、同センターで受講申込を受け付ける。

2.主催

北海道大学アイソトープ総合センター
東北大学先端量子ビーム科学研究センター
東京大学アイソトープ総合センター
名古屋大学アイソトープ総合センター
京都大学環境安全保健機構放射線管理部門
大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター
九州大学アイソトープ統合安全管理センター

3. 共催

短寿命RI供給プラットフォーム
RIコラボラテイプ学際領域展開プラットフォーム

4.研修期間及び会場

期間：令和７年10月30日（木）、31日（金）
会　場：大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）

5.受講資格・対象

(1)各大学等の放射性同位元素等取扱施設において放射線安全管理に携わっている教職員であること。
(2) 受講申し込み時点までに所属機関で放射線業務従事者として登録されていること。

6．受講定員

約 40 名

7．申込み及び決定

（1）申込み

各大学等（機関）の長は、希望者を別紙様式（1，2）により令和 7 年 8 月 29 日（金）（必着）までに、大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター長に推薦すること（2 名以上の場合は優先順位を付すこと）。なお、希望者がない場合においては、別記様式 1 の「事務連絡先」欄のみ記入し、その旨回答すること。

（2）受講者の決定

大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター長は、前項により推薦された者の中から、協議のうえ受講者を決定し、受講申込者の所属大学等（機関）の長に通知する。

8．研修内容

（1）講義と実習

1. Ge 半導体検出器を用いた測定実習
2. ^{99}Mo/^{99m}Tc ジェネレータからの ^{99m}Tc の分離と除染

（2）特別講演

核融合に関する研究の現状（仮題）

（3）施設見学

大阪大学レーザー科学研究所

実習で使用しますので、ノートパソコンをお持ちください。詳細は後日お知らせします。

9．経費

研修費（受講料）は無料とし、研修旅費、宿泊費は派遣する大学等（機関）の負担とする。

10．その他

各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当職員については、一定期間毎に本研修を受講されますよう、ご配慮願います。

（本件連絡・申込先）
大阪大学放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 － 4
電話：06-6879-8821
Mail: ri-com@riric.osaka-u.ac.jp
様式の電子ファイルがご入用の場合は、上記アドレスまでご連絡ください。